

基本情報

【年齢】
30歳
【出身地】
茨城県 桜川市
【転出元】
栃木県 宇都宮市
【前職】
山小屋スタッフ (宿泊業)
【活動時期】
R3.12~
(1年目)



協力隊に応募したきっかけ

長くシーズンワーカーとして夏は山小屋、冬は住み込みで各地を転々としながら仕事をするという生活を送っていた。協力隊になる前年、冬季に上川町で仕事をする機会があり、その際に地域の人や地域おこし協力隊の方と関わったことが、コミュニティに入るきっかけになった。これを機に移住し、地域おこし協力隊の活動を通して、自分の仕事を作ろうと考え、応募した。

今後の抱負・任期後の目標

自分のスキルで、地域の課題解決や、地域住民のためになることを仕事に行きたいと考えている。プロデュース業やディレクション業を主体としながらも、コミュニティ形成の一環として現場での作業も仕事にしたいと考えている。具体的には、イベント企画・コーディネーターや、森づくりの活動、「コミュニティ大工」として空き家活用事業などを仕事にしたいと考えている。

活動内容

● イベント企画、プロデュース、写真撮影

「本と珈琲と〇〇」という名前で、マルシェのようなイベントを月に一度企画・運営している。上川町に限らず、道内各地で開催することで、ローカルの間が地域間を移動し、新たな何かが生まれるきっかけになればと考えている。その他にも、アウトドアイベント、地域コミュニティ形成につながるようなイベントを企画・運営・サポートしている。また、カメラマンとしてサポートすることもあり。



● アウトドアコンテンツ創出、森づくり活動

アウトドアスポーツのようなアクティビティというよりは、キャンプのように、自然の中に入る、体感するというところに重きを置いたコンテンツ創出、場づくりを行なっている。また、森づくり自体をコンテンツと捉え、上川町町有林の再利活用の取り組み一環として、林業の現場作業のサポートや、森の中での体験コンテンツ創出を行っている。今後は林業従事者の高齢化や人材不足の解決のためのコーディネーターや、町有林を使ったプロダクト制作なども行う予定。



● 空き家活用事業

今後、上川町は空き家の利活用が課題となる。DIYや大工業のスキルを活かし、現場で作業に携わりながら、過疎地の空き家の利活用自体がコミュニティ形成の手段になったり、施工(移住者など)がコミュニティに入る架け橋になるような、「コミュニティ大工」として活動予定。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
a.tasaki@kamikawork.jp (上川町役場担当係) 01658-2-4063

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram : 本と珈琲と〇〇 (プロフィールより個人アカウントリンク有)

